

あたま 市議会だより

第42号
令和2年
5月8日

- P 2～8 令和2年2月定例会
質疑および一般質問（要旨）
- P 8 議会のはてな？
- P 9 討論
- P 10 令和2年2月定例会 議決結果
- P 11 賛否の分かれた議案・各委員長報告
- P 12 議会からの報告・お知らせ



令和2年2月定例会について

2月定例会は、2月25日から3月17日まで22日間の会期で開催し、議案26件、報告2件、同意1件について審議し原案のとおり可決等されました。

表紙写真：ジャカラダ遊歩道

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1

TEL 0557-86-6644

FAX 0557-82-7287

E-mail gikai@city.atami.shizuoka.jp

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.city.atami.lg.jp/shigikai/index.html>



はしもとかずみ
橋本一実 議員

熱海市民クラブ
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(副委員長)
広域行政推進特別委員会

施政方針と令和2年度重点施策に関して 生活困窮者対策について

質問 市民が熱海の将来に明るい希望を抱ける新事業は一体どれか。

答弁 施政方針の中の全ての事業が、明るい将来につながるものと考え、その中でも主な事業として、観光地経営の仕組みづくりとして、熱海型※DMOの構築、観光財源の確保の検討を行う。高齢者の保健事業と介護予防を、専門職の体制を整備して一体的に取り組む等により、熱海版地域包括ケアシステムの構築を進める。また、(仮称)熱海フォーラ

ム整備事業について、施策の中心となる機能を市民ホールと市民交流センターとし、施設規模や配置に関して具体的な検討に取り掛かる。

質問 過日、都内で団地に住む兄弟の困窮死が報じられ、自治体として電気・ガス・水道のライフライン事業者との連携について厚労省より強化を求められていたはずだが、本市の取組みはどうか。

答弁 生活困窮者の支援については、最後のセーフティネットと言われる生活保護制

度に加え、生活保護受給者以外の生活困窮者に対する「第二のセーフティネット」の充実、強化が図られ、生活困窮者の自立促進を図ることを目的とした生活困窮者自立支援制度が平成27年度にスタートし、事業を実施している。今後、困窮している方に、よりの確に支援が届くよう、ライフライン事業者との連携についても取り組んでいく。

網代小学校と多賀小学校との統合について

質問 地元網代地区や保護者の方々への説明と経過と意見要望は。

答弁 昨年初秋より児童及び保護者の精神的な変化に配慮し説明協議を行ってきた。児童数の減少により、教育環境を維持することが困難な状況を踏まえ、令和3年度に統合することを伝えた。網代連合町内会の役員に対しても同様。意見は、統合までに時間的余裕がない、平成18年度に中学校を統合した折、小学校は存続させていく旨の約束があった、学校が無くなることで今後さらに地域力が低下することに対する本市の考え方などがある。

質問 令和2年度中に統合に向け準備を遺漏なく進めるため、どの様にするのか。

答弁 すでに統合準備委員会を立ち上げた。構成員は、網代多賀地区連合町内会長、両校PTA会長、両校学校長、両校学校評議員等で構成。組織編制は、双方のPTA組織に関する調整を行う保護者部会、両校の教育課程のすり合わせを行う教育課程部会、閉校にあたり式典や記念誌の製作を所掌する式典等準備部会の3部会構成。

質問 本市として考えている支援策等は。

答弁 検討している支援策は、公共交通機関を利用した場合の通学費補助。

質問 行政が深く関与して網代地区の活性化を図る必要があるがどうか。

答弁 網代地区の現状は議員と同じ認識。網代連合町内会、住民の皆様と、地域の活性化についての検討を進め、活性化の実現に向け、行政として深く関与する。



かわぐち たけし
川口 健 議員

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



質問 コロナウイルスにより、幼稚園・小中学校が、臨時休校となり、保護者は様々な負担を強いられているが、少しでも保護者の負担軽減を図るため休校中の給食費の返還をすべきと思うが。

答弁 小中学校それぞれの一食あたりの給食費に、提供しなくなった日数分を算定し、返還する予定である。

質問 市営住宅入居者の高齢化率は、最高で86.1%。平均でも57.1%と高齢化が進んでおり、駐車場の使用料の徴収が負担になっているが、相の原市営住宅が実施している使用料徴収の民間委託を他の市営住宅でも実施すべきと思うが。

答弁 相の原市営住宅は、平成29年度から駐車場の使用料の収納業務委託を行っている。

優良ヶ台市営住宅においても、令和2年度から収納業務委託を実施する予定である。他の市営住宅についても、相談があった場合には、柔軟に対応していきたい。



コロナウイルスについて 市営住宅駐車場使用料の委託について



たなかひでたか
田中秀宝 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(副委員長)

熱海フォーラムについて 住民自治における個人情報の活用について

質問 市民ホールを作ることになれば、市民福祉や教育・防災などの予算を削る事になるか。

答弁 中長期の財政見通しでは、今後の市民生活、教育、防災に関する予算も見込んだ上で示しており、それら予算を削ることはない。

質問 静岡県内の35市町で市民ホールがあるのは何か所か。

答弁 県内31市町にホールがある。

質問 収入に対する、将来本市が負担する借金などの割合で数値が高いほど、将来財政を圧迫する可能性が高い事を示す、将来負担比率の本市の数値と県の平均を教えてください。

答弁 本市が9.2%、県平均20%。

要望 市民の皆様が望んでいる熱海フォーラムをしっかりと推進させてほしい。

質問 自治体・町内会では、個人情報の取扱いが切実な問題になっている。京都市北区では、個人情報の取扱いに対して手引きや参考資料として同意書文例など具体的に作成している。

答弁 今後、個人情報の取扱いについての相談や要望が多く見られるようであれば、必要に応じ、担当部署等と相談の上、手引き等の作成についても考えていく。



あか こういち
赤尾光一 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会



すぎやまとしかつ
杉山利勝 議員

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
(副委員長)
公共施設整備等特別委員会

熱海フォーラム整備事業について

【質問】 熱海フォーラム整備事業は、イニシャルコスト（初期投資）が30億円、ランニングコスト（運営経費）に70億円で、総額百億円を要する大プロジェクトだが、ランニングコストの多くは、次世代の市民に負担を強いる。市民団体への説明会で、市長は市民団体に伝えたのか。

【答弁】 事業費30億円、メンテナンス費用5千万円（年間）は伝えた。設計の詳細がまだなので、出た時点で数字を

詰めていきたい。

【質問】 本市は行事の際に、MOA美術館の能楽堂を借りているが、国は「新しく造るのではなく、賢く使い」民間代替可能性など公共施設とサービスの関係に留意が必要」と言っている。MOA美術館に対して年間1千万円払うから、1年間のうち何日間か市民利用できないかといった交渉をしたことはあるか。

【答弁】 ない。
【意見】 市民アンケート

トでは、民間が保有する施設を使用し経費を削減する、という問いに、実施すべき・どちらかといえば実施すべきの回答を合わせると、3分の2の人がそうすべきと答えている。アンケート結果の大多数の意見を無視し、国の指針にも反して市長は、市民ホールを造ろうとしている。なぜ、次世代の人々を生きにくくするのか理解できない。

水道事業と生活困窮者支援の連携について 中高年の引きこもり問題について



ごとうゆういち
後藤雄一 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

【質問】 厚生労働省では、水道料金の滞納等から生活に困窮している方を把握した際には、自立相談支援機関に情報を提供し、早期の支援に繋げることを促している。本市はこのことに積極的に関わることが肝要と考えるが。

【答弁】 対象者からの相談を待つ姿勢ではなく、料金が滞っている方への電話、訪問による声掛けを行い、生活困窮であると思われる場合には、適切な支援へつなぐことができるよう体制の強化を図りたい。さらに、民間のライフライン事業者との連携についても取り組んでいきたいと考える。

【質問】 中高年の引きこもりは、社会全体で受け止めるべき重要な課題である。本市でも問題を把握し、支援につながるよう体制を強化すべきと考えるが。

【答弁】 本市では福祉事務所内で連携し対応するとともに、社会福祉協議会や高齢者相談センターと連携をとり対応している。しかし、生活困窮等により高齢者虐待などの痛ましい事故に繋がる可能性がある。引きこもりの実態を把握することは難しいと考えるが、来年度、社会福祉協議会において、引きこもり相談窓口を掲げるので、関係機関との連携を更に深め、問題が発生する前に有効な支援に繋げることができるよう体制の整備に努めたい。

※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



たかはし ゆき お
高橋幸雄 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(副委員長)

令和3年度からの 第5次地域福祉計画について

質問 現行の計画では、社会福祉協議会の取組みや、地域住民などによる福祉活動への支援について方針が定められているが、やや形骸化しているように思う。制度の狭間に落ちる支援ニーズに応えることや、複雑な福祉課題に対処することが重要になっており、各分野を統括する計画が必要。施政方針によれば、令和3年度の計画改定に向けて議論を進めていくが、計画の目的と内容をどのように考えているのか。新たな考え方を取り入れる

べきではないか。

答弁 計画がやや形骸化していることも事実。改定に向けて、地域共生社会の推進を目指し、福祉の各分野を統括する計画にしていきたい。ご指摘の「制度の狭間に落ちる支援ニーズ」、引きこもりや※8050問題などを解決するための方策を記載し、地域共生社会の実現に向けた実効性ある計画にしたい。

質問 地域福祉の多様で複雑な課題に対し、総合相談の体制を検討するのであれば、支援の必要な方をつないでいく事業を構築すべきではないか。

答弁 今以上に、就労支援や居場所づくりの仕組みを整備したい。

要望 地域では民生委員、児童委員、町内会役員等の皆様が、見守りの役割を担ってきただが、担い手確保も困難になると考える。本市は、地域住民同士の間が濃い。様々な地域資源をどのように利用するか情報提供を含め、複雑な課題を抱えた人でも住み続けられる体制を構築されるような計画を策定してほしい。

水道事業について



いなむら ちひろ
稲村千尋 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

質問 本市は、県水を三島と函南の二市一町で利用し、本市の水道水の30%を柿田川湧水で賄っている。令和2年度の本市の水道料金収入は18億5,800万円を見込み、そのうちの45%、8億3,700万円を静岡県へ受水費として支払う。本市の水道事業財政は大変厳しい状況。令和2年度の水道管や配水池等の更新工事費は7億4,200万円。令和6年度には14億円必要になる。そこで、水道料金を令和5年度に17%、9年度に9%の値上げを計画。それでも水道事業の借金は令和元年度の53億6,700万円が11年度には91億8,400万円に膨らむ。本市は厳しい水道事業財政を改善するため、県水から脱退し、市内の自己水

源を再整備したい方針。県水からの脱退が可能となった場合、自己水源の整備費の概算はどれ程か。

答弁 仮に自己水源だけで市内全域を賄うとなった場合、整備費用は約41億5千万円となる見込み。

質問 今までどおり県水を受水した場合と自己水源だけの場合は、将来的な財政予測は。

答弁 水源開発により自己水源だけの場合、年額1億5千万円圧縮できると試算している。

質問 市長は県水脱退の方向で、不転の決意で取り組むか。

答弁 二市一町協議会を考慮しながら、市民に有利な判断をしたい。

※ 〃で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。



やま だ はる お
山田治雄 議員

熱海市民クラブ

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会
(委員長)

総合計画をなぜ策定しなくてはならないのか
ホール建設を果たし早く新図書館建設の準備を進めるべきではないか

【質問】 市政の根幹と言われる総合計画を、令和3年から10年先の令和12年までの第5次総合計画の策定を進めているが、このように10年も先までの計画をなぜ策定しなくてはならないのか。それはどのような根拠により総合計画を策定するのか。また、この内容は市民の多くにわかるものとしなくてはならないが。

【質問】 本市は、上宿用地の取得目的を市民ホールと図書館等としてきたが、今回新たな構想として市民ホールと市民の集う等の場所とし、図書館は庁舎再編に絡め考えるところ。第4次総合計画では新図書館構想の検討に着手するとしており、庁舎再編の中で検討し、組込むとするならば、

【質問】 どのように組込むかということを検討すべきではないか。

【回答】 新年度になるが、庁舎再編の対象となる部・課、施設を所管する部署、図書館も加えて、まずは現状の問題点や課題の洗い出しを手始めに、具体的な議論を進めたいと考えている。第4次総合計画から積み残しとなっている図書館については、第5次総合計画において庁舎再編の中で検討する旨を記載すべく調整をはかりたい。

(仮称) 熱海フォーラムについて
教員の変形労働時間制について



こ ざ か さ ち え
小坂幸枝 議員

日本共産党

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

【質問】 今回の(仮称)熱海フォーラムの案に図書館が入っていないのはなぜか。新しい施設には、高齢者や子ども連れでも安心して利用できるような駐車場の併設を。市民の憩いの場、観光客の休憩スポットとして屋上広場を。太陽光発電と蓄電池の設置を。公共の施設は、率先して自然エネルギーを取り入れるべきではないか。災害時の避難所電力としても活用できるし、※SDGSの実践のチャンス。「クリーンな街観光熱海」を一步進めることができるかどうか。

【質問】 併設は、敷地の制限から困難。屋上広場や太陽光発電については、ホール施設の特殊な形状から十分なスペースを確保できない。

【質問】 国会で「教員の変形労働時間制」が決まったが、本市では過労死ラインの残業月80時間超、ガイドラインの月45時間超の教員はどの程度いるか。

【回答】 10月から2月までの平均では、80時間超は小・中学校で各0.7%、45時間超は小学校で35.3%、中学校で52.9%。これは、文科省の調査結果を下回っている。

【要望】 教師の過密労働を助長するような変形労働時間制を、本市では取り入れないことを要望する。

※ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



よねやまひでお
米山秀夫 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

幼児教育・保育の無償化について

※オーブンデータの取組みについて

【質問】 0から2歳児の保育無償化を目指すための方策として、自宅で子育てしている家庭への財政支援を考えたほうが。結果として0から2歳児の待機児童解消に繋がり、0から2歳児の無償化に道が開けてくると考え

【答弁】 入所入園を希望する、希望しないに関わらず、すべての子育て家庭への支援策として充実したものであり、一定の財政支援により在宅保育にシフトする家庭が増加することも想定され、待機児

童の抑制効果が見込まれると考える。しかし、経常的な財政負担を踏まえ、慎重に検討していかなくてはならないと考える。

【質問】 公共データの民間開放である※オーブンデータに取り組みないことは、本市の行政情報が反映されず活用されない状況を作ることに、市民にとつて不利益にならないか

できるものから着手するということ入りやすい側面もあるので、取り組むべきと思う。取組みの時期等を検討してい

るのであれば教えて。

【答弁】 データは行政運営、市民生活には必要不可欠なもの。特に行政は多くのデータ（情報）を持っているので、民間に開放することでより有効な活用が図れるものと認識しているが、他市町と比べて取組みが遅れているのも事実。まずは出来ることから早急に取組んでいく。



熱海市独自のコロナパンニックによる市内経済支援対策を問う ブルネイ国のホストタウン協定合意による今後のメリットについて問う



むらやまけんぞう
村山憲三 議員

熱海市政調査会
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

【質問】 新型コロナウィルス対策として、国は外出の自粛を打ち出した。いの一に影響を受けるのは観光である。本市にも大きな打撃を与えており、このまま続けば宿泊・飲食サービス業の事業縮小等が懸念される。宿泊や日帰り観光客が減ることで、雇用が失われることが危惧される。新型コロナウィルス感染の影響による本市への経済的ダメージと中小企業経営者に対する支援策は。

【答弁】 宿泊客の減少は市内すべての産業に波及し、特に中小企業に対する支援が必要と認識している。現時点では、セーフティネット保証や衛生環境激変対策特別貸付などの国、県の支援策の効果などを見ながら本市として支援策を検討していきたい。

【質問】 ブルネイ国とのホストタウン協定までの経緯と、事後交流を盛り込んだ協定のメリットについて問う。

【答弁】 ホストタウン交流については、ブルネイ関係者との事前調査のためのミーティングを行い、今後のホストタウン交流について概ね合意形成できたと考えている。交流内容については、今後継続した交流に向けプログラムを検討する。ホストタウン交流は、ASEAN諸国及びイスラム教国からのインバウンド受入に資すると期待する。

障がい者の居場所づくりについて

南熱海地区の回遊性促進事業について



こしむら おさむ 議員
越村 修

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

質問 障がい者福祉における最大の課題は進まない理由は、

答弁 事業者と支援対象家庭の高齢化。親亡き後において、行政の方向性は共有できていないので、検討を継続してどのようにサポートする。

質問 市長には、居宅や入所機能を持った施設整備を目指す上で、第5次総合計画に明確に位置付けし確実に進めたい。

答弁 身体障害者手帳所持の65歳以上の割合は83%、平均年齢は75歳。課題として相談体制や短期入所も含めた居住支援の機能が十分ではないと認識している。

質問 市内全域へ観光客の回遊性を促進する

答弁 方向性は第5次総合計画にも位置付けた回遊策が実施されている。「湯く遊くバス」計画を策定する。

質問 市内全域へ観光客の回遊性を促進する

答弁 市内全域へ観光客の回遊性を促進する

要望 湯河原地区での実施を要望する。

議会の はてな？



質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※で表記されている言葉についての説明です。

P2 DMO

「Destination Management Organization」の頭文字を取った単語で、自然や食など地域の観光資源に精通し、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを行う法人のこと。

P5 8050問題

主に50代の中老年の引きこもりの子を、80代の親が支えるという社会問題。

P6 SDGs

「持続可能な開発目標」のこと。2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標をいう。

P7 オープンデータ

政府機関や自治体、企業などがもつ情報で、インターネットなどを通じて、誰もが二次利用できる公開されたデータのこと。

議案第1号 令和2年度熱海市一般会計予算

反対 村山憲三議員

新型コロナウイルス感染防止による外出自粛ムードのなか、カスカイス市訪問を延期し、梅園荘解体よりも優先すべきは市民の生活を守ることである。予算を飲食店等支援策として活用すべきであり、この予算案に反対する。

賛成 橋本一実議員

熱海2030ビジョンのもと、熱海躍進のための礎づくりをさらに加速していく年と位置付け、3つの柱の政策を骨太で強固なものにすべく、可能な限りの予算配分がされているものとし、一定の評価をする。

議案第6号 令和2年度熱海市水道事業会計予算

反対 米山秀夫議員

水道事業へ統合する初島簡易水道事業に関係する収入・支出が計上されているが、地方公営企業法の規定を適用する条文がないため、予算の執行ができず、資産の取得及び処分は、貸借対照表に計上されても法の適用条項がなければ法的根拠がなく、水道事業会計の資産として認知できない。令和2年度熱海市水道事業会計予算が違法性のある予算となる。

賛成 橋本一実議員

前年度比2.1%増の予算は、送配水管布設替工事費等の建設改良費によるものであり、昨年に引き続き、水の安定供給のために必要な施設整備に要する経費が計上されていると認め、賛成する。

議案第25号 熱海市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

反対 米山秀夫議員

熱海市公営企業の設置等に関する条例は、第3条に下水道事業、温泉事業を法適用とするときに開始年月日を入れて明記したが、今回の議案にはこれらの条文がない。条例改正には反対する。初島簡易水道事業について、水道事業へ統合する記述を法体系の上で残すべきである。

賛成 橋本一実議員

初島簡易水道事業施設を廃止し、既に法適用されている上水道事業施設に統合したものであり、公営企業法の適用にも問題がなく、熱海市水道事業ビジョンにおける水需要の実績と予測に基づいた給水人口や一日最大給水量が見込まれており、適正なものと理解できることから賛成する。

2月定例会 議決結果(本会議)

〈 市長提出の議案等 〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第1号 令和2年度熱海市一般会計予算	可決(多数)	議案第16号 熱海市離島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例	可決(全員)
議案第2号 令和2年度熱海市国民健康保険事業特別会計予算	可決(全員)	議案第17号 熱海市立幼保連携型認定こども園条例	可決(全員)
議案第3号 令和2年度熱海市介護保険事業特別会計予算	可決(全員)	議案第18号 熱海市印鑑条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第4号 令和2年度熱海市初島漁業集落排水処理事業特別会計予算	可決(全員)	議案第19号 職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第5号 令和2年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決(全員)	議案第20号 熱海市立澤田政広記念美術館条例等の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第6号 令和2年度熱海市水道事業会計予算	可決(多数)	議案第21号 熱海市基金条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第7号 令和2年度熱海市下水道事業会計予算	可決(全員)	議案第22号 熱海市総合福祉センター条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第8号 令和2年度熱海市温泉事業会計予算	可決(全員)	議案第23号 熱海市初島診療所条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第9号 令和元年度熱海市一般会計補正予算(第6号)	可決(全員)	議案第24号 熱海市都市公園条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第10号 令和元年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全員)	議案第25号 熱海市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決(多数)
議案第11号 令和元年度熱海市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	議案第26号 市道路線の変更について(太夫田七尾原線)	可決(全員)
議案第12号 令和元年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	報告第1号 専決処分の承認について(市温泉管からの漏湯による事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	承認(全員)
議案第13号 令和元年度熱海市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)	報告第2号 専決処分の承認について(令和元年度熱海市一般会計補正予算(第5号))	承認(全員)
議案第14号 令和元年度熱海市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)	同意第1号 公平委員会委員の選任について	同意
議案第15号 令和元年度熱海市温泉事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)		

2月定例会 賛成・反対が分かれた議案等(本会議)

議員名・会派名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決結果
	山田治雄	橋本一実	小坂幸枝	村山憲三	後藤雄一	米山秀夫	泉明寺みずほ	田中秀宝	赤尾光一	越村修	竹部隆	川口健	杉山利勝	高橋幸雄	稲村千尋	
議案番号	市民ク	市民ク	共産	市政調	梁山泊	梁山泊	梁山泊	梁山泊	成風	成風	成風	成風	成風	成風	成風	
議案第1号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	可
議案第6号	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	可
議案第25号	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	可

議長(11番 竹部隆)は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。

議決結果 可=原案可決 採決結果 ○=賛成 ×=反対

会派名 成風=熱海成風会 梁山泊=自民党・公明党・女性の会 熱海梁山泊 市民ク=熱海市民クラブ 市政調=熱海市政調査会
共産=日本共産党

委員長報告

●観光建設公営企業委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第1号 議案第25号 議案第6号	可決(賛成多数)	静岡アフターDC推進関連事業経費、初島地区を水道事業の給水区域に加えること等に伴う条例改正等、必要な措置と認める。
議案第7号 議案第14号 議案第8号 議案第15号 議案第9号 議案第24号 議案第13号 議案第26号	可決(全会一致)	観光振興基金積立金の増額補正や下水道事業に関して固定資産除却費の増額、姫の沢公園に新たにピジターセンターを設置し利用料金の範囲を定めることによる条例改正等、必要な措置と認める。
報告第1号 報告第2号	承認(全会一致)	必要な措置と認める。

●総務福祉教育委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第1号 議案第16号 議案第2号 議案第17号 議案第3号 議案第18号 議案第4号 議案第19号 議案第5号 議案第20号 議案第9号 議案第21号 議案第10号 議案第22号 議案第11号 議案第23号 議案第12号	可決(全会一致)	令和2年度国勢調査実施経費やNET119緊急通報システム導入経費等の予算計上について、その他特別会計予算、補正予算、各条例等について内容を審査し、必要な措置と認める。

●広域行政推進特別委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第1号	可決(全会一致)	必要な措置と認める。

議員研修会を開催しました

令和2年2月4日、伊東市議会と合同の議員研修会を伊東市健康福祉センターにて開催しました。

テーマは「地方議会の制度と運営」。講師には全国市議会議長会企画議事部副部長、篠田光洋氏をお迎えしました。

地方議会を取り巻く環境が大きく変化している中、市民の多様なニーズを的確に捉え、市民の負託に応えるべく、議会機能の充実強化を図ることなどを目的に開催し、講師の篠田氏から分かりやすくご講義いただきました。



次回

熱海市議会
令和2年6月
定例会



主な日程

6月 4日(木)	10:00～	本会議（議案上程）
6月 16日(火)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
6月 17日(水)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
6月 18日(木)	10:00～	観光建設公営企業委員会
6月 19日(金)	10:00～	総務福祉教育委員会
6月 23日(火)	10:00～	本会議（審議採決）

※日程は変更になる場合がございます。

議会を傍聴 しませんか？

熱海市議会では、本会議や委員会の傍聴を受け付けています。
手続きは簡単ですので、お気軽にお越しください。

●本会議

本会議の当日に【市役所第3庁舎3階エレベーター横】の傍聴受付までお越しください。傍聴券を発行します。

●委員会

各委員会の当日に【市役所第3庁舎2階議会事務局】までお越しください。

※新型コロナウイルス感染防止対策として、傍聴を制限する場合がございます。
詳細については、議会事務局までお問合せください。

次回の市議会だよりは、8月7日発行予定です。

<議会だより編集委員会>委員長：越村 修 副委員長：橋本 一実
委員：赤尾 光一・後藤 雄一・小坂 幸枝